

# Impella 及び ECPELLA が血行動態に与える影響に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

## 研究の目的と方法

済生会熊本病院では、重い心不全や心筋梗塞、心停止などにより心臓の働きが著しく低下した心原性ショックの患者さんに対して、VA-ECMO（体外式膜型人工肺）や Impella といった補助循環装置を用いた治療を行っています。また、これらを併用する ECPELLA 療法も導入し、より良い治療成績を目指して診療にあたっています。本研究は、「Impella 及び ECPELLA が血行動態に与える影響に関する研究」と題し、2012年1月から2026年3月までの間に当院でVA-ECMOまたはImpella（ECPELLAを含む）による治療を受けられた患者さんを対象に、通常の診療の中で得られた情報を用いて、治療中の血液の流れや心臓への負担（血行動態）と治療成績との関係を明らかにすることを目的としています。本研究は、過去の診療記録を用いて行う後ろ向き観察研究であり、新たな検査や治療を行うことはありません。

## 研究の対象となる方

2012年1月～2026年3月に当院でECPELLA治療を受けられた方

## 使用する試料・情報

研究に使用する情報は、年齢や性別、基礎疾患の有無、病気の発症から治療開始までの時間、血圧や心拍数、心拍出量などの生体情報、心臓カテーテル検査や心エコー検査の結果、血液検査や尿検査の結果、補助循環装置や薬剤の使用状況、ICU在室期間、生存状況など、

使用開始予定日：2026年5月12日

## 研究予定期間

2026年5月12日～2028年3月31日

## 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 鶴木崇

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

## 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 鶴木崇

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)